

■宇沢弘文 アメリカ経済学界で一流の地位を確立するも、疑念抱いて帰国、新たな理論で復活を図り、苦闘し続けた。

うざわひろふみ

共産党事件・1928＝鳥取県米子市で、宇沢家の寿子と婿養子で小学校の教師時夫の次男に生まれる。

満洲事変・・1931＝3歳：父が、母の反対を押し切って、屋敷・家財を処分した資金を手に、一家で上京。父は本駒込の昭和小学校に職を得、受験に必要な数学の教え方が上手くて、すぐに評判の教師になる。_兄弟皆、数学が得意で、

芥川直木賞始1935＝7歳：滝野川第一小学校に入学、学業全般に秀でただけでなく、

日中戦争始・1937＝9歳：

第二次大戦始1939＝11歳：授業で、先生が代々続く天皇の系譜を称賛しながら語った時、素朴な疑問を口にして大目玉を喰うなど、_ものごとの本質にせまる姿勢は生来のもののようで、

日米開戦・・1941＝13歳：難関といわれた東京府立第一中学校にも難なく合格して入学、父が次々と事業に手を出しては失敗、財産を食いつぶし、借金問題など、母から頼られ、母思いに育つ。

年金+総武装 1944＝16歳：戦況の悪化で、勤労動員させられ、

敗戦・・・1945＝17歳：4年で卒業。第一高等学校理科乙類に進む。勤労動員続くうち、空襲で家族は郷里鳥取に疎開。自らも帰郷し、永福寺の昌賢和尚のもとで托鉢するうち、敗戦。すぐに上京、復学というより、ラグビー部に復帰、

新憲法公布・1946＝18歳：

極東裁判決・1948＝20歳：卒業。_東京大学理学部数学科に入学、彌永昌吉、末綱恕一教授に師事。民主化運動に関わり、上田健二郎(不破哲三)から批判され、郷里永福寺昌賢のもとで読書、河上肇の『貧乏物語』に出会ったことから、

独立回復・・1951＝23歳：卒業。同特別研究生となると、_マルクス経済学の習得に精を出すようになり、

テレビ放送始・1953＝25歳：_経済学への転向を決意、師彌永、末綱の猛反対を押し切り、数学科を辞める。労働者になろうとして怪しまれ、結局、末綱の紹介で統計数理研究所に勤めるうち、先輩の縁で、東大経済学部の館龍一郎が主宰する研究会に参加、高度な数学を用いるケネス・アローに衝撃を受けるや、それを越える論を構築、

自衛隊発足・1954＝26歳：持前の義侠心のため、退職せざるを得なくなり、今度は、彌永の紹介で朝日生命保険に勤務、

55年体制始・1955＝27歳：*自らの論文をスタンフォード大学のケネス・アローに送ったところ、すぐに認められ、

国連加盟・・1956＝28歳：またも義侠心を起こして退職していたところ、_1年契約で、スタンフォード大学経済学部で招かれ、渡米。またも義侠心で起こして退職していた青芳浩子と出合い、大学の教会で結婚式挙げ、落ち着く。

なべ底不況・1957＝29歳：前々年にフルブライト奨学生として留学していた青芳浩子と出合い、大学の教会で結婚式挙げ、落ち着く。下宿の家主アンが異端の経済学者といわれたヴェブレンの娘だと知って驚くなど、思わぬ発見が続くなか、

美智子妃・・1959＝31歳：長男達(のち数学者)が誕生。_早くも助教授になるが、博士課程を経ていない問題を打破するため、

安保闘争・・1960＝32歳：次男聡(のち生物学者)が誕生。敬慕してきた師昌賢が死去。_1年契約で、カリフォルニア大学バークレー校経済学部助教授になり、偶然、マルコムXの演説を聞いて、アメリカの矛盾に気づかされる一方、ケインズの

タイタイ病始・1961＝33歳：*イギリスの経済雑誌に「経済成長の2部門モデルについて」を発表、大反響となり、確固たる地位を確立、多くの信奉者を得て、スタンフォード大学に戻り、終身在職権のある準教授になった。

全国総合計画1962＝34歳：_何の関係もなかった東北大学の望みに応え、経済学博士号を取得。ロバート・ソローから厳しい批判を受けて、2部門モデルを修正するなどするうち、新古典派経済学に疑問を抱くようになり、

東京テレビ 1964＝36歳：長女まり(のち内科医)誕生。*招聘されたシカゴ大学経済学部教授になると、伝説となる”宇沢ワークショップ”を開催、スティグリッツら多くの俊英を育成するが、同僚のフリードマンと議論して思想問題に直面、

大学紛争始・1965＝37歳：*教育投資を盛り込んだ画期的な論文「経済成長モデルにおける最適な技術進歩」を発表、

いざなぎ景気1966＝38歳：ベトナム反戦運動に加わって、同志らと雑誌をつくって啓蒙活動するうち、帰国を考えるようになり、

美濃部都知事1967＝39歳：ケンブリッジ大学で研究、ロビンソンらイギリスの経済学の遺産を引継ぎ、独自の投資理論を醸成して、

霞ヶ関ビル・1968＝40歳：_帰国、学閥紛争さなかの東京大学経済学部助教授になる(格落ちが話題に)。その投資理論の論文を、

全共闘ビル・1969＝41歳：_教授(研究資金はシカゴの1/15)。二つ続けて発表、その核心「ペンローズ曲線」は最高傑作とされる。大学は授業どころでなく、顧問になった日本開発銀行設備投資研究所が大学院のような役割をし、多くの俊

秀を育てる。シカゴ大学にも籍が残され、全米の諸大学から勧誘あるも、全て断る。滞米中の日本の高度成長の弊害に関心を抱き、日経の論説記事として、公害について「社会資本の経済学を考える」を発表直後、

大阪万博・・1970＝42歳：_都留重人企画「現代世界における環境破壊についての国際シンポジウム」の日本側メンバーになって、公害とその研究者たちと運命的出会い、《中央公論》に「環境破壊とインフレーション」を発表し論壇デビュー、

ドルショック・・1971＝43歳：《季刊現代経済》創刊号に「新古典派経済学を超えて」を発表し、吉野作造賞。

沖縄返還・・1972＝44歳：尊敬する宇井純が主宰する公開自主講座「公害原論」で公演。

石油ショック1973＝45歳：*日本に帰国して以降感じてきた外部不経済の問題を、自動車を切り口に統合すべく、自ら提案して、

角栄金脈辞任1974＝46歳：*岩波新書「自動車の社会的費用」を出版、ベストセラーになり、毎日出版文化賞。

角ランブル事件1975＝47歳：*社会的共通資本に関する英語の論文を3本続けて著し、行動する経済学者に変貌。

田中角栄逮捕1976＝48歳：計量経済学界(The Econometric Society)会長になり、意気込んで、ヘルシンキに向かい、「不均衡動学の理論に向けて」講演するも不発に終わる。初の訪中。公害研究委員会の季刊誌「公害研究」同人になる。

成田衝突・・1978＝50歳：母が死去、葬儀に際し、人前を憚らず号泣して、参列者を驚かす。

革新大敗北・1979＝51歳：革新都政を維持すべく、都留重人を候補にしようとするも失敗、自民党の推す鈴木俊一が当選してしまった。{エコノミスト}に、_大型連載記事「保守化する近代経済学」を発表、

貿易摩擦問題1980＝52歳：同経済学部長。_レーガン大統領の誕生で、予言は的中し、経済学界での敗退を実感し、以後、沈黙。

中曽根内閣・1982＝54歳：

ドイツニエント 1983＝55歳：文化功労者になり、昭和天皇に説明するに際し、パニックになったが、天皇から「要は経済も人間の心が大切だと言いたいのだね」と指摘されて、コペルニクスの転回をしたという。館龍一郎と訪中、趙紫陽首相と面談し、訪問する度に印象の悪くなる中国を率直に批判、

リクルート事件・1988＝60歳：ケンブリッジ大学と東大から、2冊の英語論文集を出版するが、大半はアメリカ時代のもの、

昭和天皇没・1989＝61歳：東京大学を定年退官、東京大学名誉教授。新潟大学経済学部教授に就任。日本学士院会員、

ドイツ統一・・1990＝62歳：米ソ首脳による冷戦終結宣言直後、*ローマ法王パウロ2世から、地球温暖化会議開催の回廊作成に協力依頼があり、面談して高揚。アメリカの経済学者らからは、ローマでの「地球温暖化～経済政策的対応について」の会議開催案内があり、アジアから唯一人参加、高い評価を受け、新たなテーマを地球温暖化に定めて活動を再開するや、各国の経済状況に対応したCO2の帰属価格にもつづく「宇沢フォーミュラ」を提示、

ソ連崩壊・・1991＝63歳：_三里塚芝山連合空港反対同盟のメンバーからの協力依頼で、隅谷調査団「成田空港問題シンポジウム」の同盟側学識者メンバーとなって仲裁活動、自民党大物議員との話も厭わず、後藤田正晴と緊密に連絡、

バブル崩壊・1992＝64歳：_SPがつく窮屈な生活を救ってくれたストックホルムのバイエ研究所で、コモダスの概念を知り、

55年体制終・1993＝65歳：_政府側が大幅に譲歩する案を後藤田が認めて決着。社会共通資本めざす「三里塚農社」構想を打ち出し、

自社と連立・1994＝66歳：同大学退官、中央大学経済学部教授。_運輸省に設けられた実験村構想具体化検討委員会の座長に就任、

ワル事件・・1995＝67歳：米国科学アカデミー客員会員。この前後、毎年、バイエ研究所を訪れ、自治労で研究会。

金融破綻・1997＝69歳：COP3の京都議定書を強く非難。_文化勲章後の、

・・・・・・・・1998＝70歳：_この年まで議論が続けられたが、実現は叶わなかった。

石原都知事・1999＝71歳：定年退職し、中央大学経済研究所専任研究員、国際連合大学高等研究所特任教授、

・・・・・・・・2000＝72歳：中央大学研究開発機構教授などするが、_最後の挑戦をと、教え子の同志社大教授に道場づくりを提案、

小泉9.11テロ2001＝73歳：

イラク戦争・2003＝75歳：_創設された同志社大学社会的共通資本研究センターの所長になって格闘、

小泉郵政選挙2005＝77歳：_『社会的共通資本の経済解析』などを著すが、自ら批判する経済学を乗り越えることができず、

民主党政権・2008＝80歳：_リーマン・ショックへ怒りを爆発させ、

リーマンショック・・2009＝81歳：_活動を終える。シンクタンクとして、支えてきた民主党が政権とるも、裏切られ、

東日本大震災2011＝83歳：_大震災直後、原発事故のショックからか脳梗塞で倒れ、その後は意思疎通もままならなくなり、

・・・・・・・・2014＝86歳：肺炎で、_没した。

佐々木実「資本主義と闘った男 宇沢弘文と経済学の世界」, Wikipedia,